

## 日立製作所

### ギガビットスイッチ&ルータの 間接販売チャンネルを強化

日立製作所（日立）は、ギガビットスイッチ「GSシリーズ」、ギガビットルータ「GRシリーズ」の販売およびネットワークシステム構築を行うSIパートナー向けに、販売面や技術面の支援、インセンティブ、情報提供、教育などを行う「日立ネットワークパートナープログラム」を開始した。

近年、ネットワークビジネスはブロードバンド対応、音声統合、IPv6対応など様々なニーズにより、マーケットが急成長し続けている。それに伴い、業種・業態・企業規模などによらず多様なエンドユーザーに応じたネットワーク環境の提供が必要となっている。日立は、このような背景から「GSシリーズ」「GRシリーズ」の販売網の拡大とネットワークシステム構築・運用サポート体制を強化するため、SIパートナーの支援・育成を行う「日立ネットワークパートナープログラム」を策定した。

本プログラムによりSIパートナーは、詳細な製品説明・適用例などを含む拡販ツールや実機の評価・検証環境の提供といった販売面、技術面での支援や、期初に立てた販売計画に応じたディスクカウント、販売実績に応じた報奨金、営業担当者個人への報奨金などのメリットを得られるようになる。また、エンドユーザーは、日立が認定したSIパートナーから安心して「GSシリーズ」「GRシリーズ」を購入できるようになる。

TEL：0463-88-8076

## 日本ヒューレット・パッカー

### SAN構築の初期費用を大幅に低減する エントリ、ミッドレンジ向け ディスクアレイストレージの新製品を発表

日本ヒューレット・パッカー（日本HP）は、次のようなSANの容易な構築を実現するエントリ、ミッドレンジ向けディスクアレイストレージの新製品を発表した。

ミッドレンジSANの構築に必要なコンポーネントをあらかじめ組み込むことでシステム導入のコストと時間を削減し、ITにおける投資対効果（RoIT）をより早く最大化することができる、EVA3000をベースのモデル。

・EVA3000 モデル2C1D-C：ファイバチャネルRAIDコントローラ2台、ディスクエンクロージャを1台からなるEVA3000の最小構成モデル。

・EVA3000 モデル2C2D-C 8x250GB FATAパッケージ：ファイバチャネルRAIDコントローラ2台、ディスクエンクロージャ2台に250GBのFATA対応HDDを8本組み合わせたモデル。

・EVA3000 モデル2C2D-C 8x300GB FC 10kパッケージ：ファイバチャネルRAIDコントローラ2台、ディスクエンクロージャ2台に300GBのファイバチャネル対応HDDを8本組み合わせたモデル。

「HP StorageWorks EVAファミリ（EVAファミリ）」向けに大容量、低価格の250GB FATA対応HDDおよび既存製品の倍の容量を備えた高性能の300GBファイバチャネル対応HDDモデル。EVAファミリは、1台のディスクエンクロージャでファイバチャネルHDDとFATA対応HDDの混在をサポートし、同一のEVAシステム上に価格性能比に優れたストレ

ージと高性能かつ信頼性に優れたストレージを構成可能。スナップショット機能やデータ複製機能を安価に実現でき、データの使用頻度や重要度に応じて保存先のストレージを分ける「ILM」ソリューションに基づいたストレージシステムを容易に構築することができる。

・業界初の250GB FATA対応HDD

・300GB ファイバチャネル対応HDD

ファイル、アーカイブ等のデータ保管やディスクバックアップ用途に最適な高性能外部ストレージシステム「HP StorageWorks Modular Smart Arrayファミリ（MSAファミリ）」のエンクロージャバンドルモデルとアップグレードキットを提供し、エントリSANの容易な構築を支援していく。

・MSA1500csエンクロージャバンドルモデル：外部ストレージ用コントローラ「HP StorageWorks MSA1500cs」に、SATA対応のディスクエンクロージャ「MSA20」もしくはUltra320 SCSI対応のディスクエンクロージャ「MSA30」をバンドルしたモデル。

・MSA1500アップグレードキット：キットに含まれるエンクロージャを「MSA1000」と組み合わせることで、SAN環境に対応した外部ストレージ筐体としてDAS（DtS：DAS to SAN）を実現。

また、新製品の発表と同時に既存製品の最大約45%の価格改定を実施した。これにより、従来のシステム構成と比較してハードウェア初期導入コストを約30%低減することが可能となった。

TEL：03-5304-6660

## カーネル 2.6 対応のエンタープライズ向け 新 Linux OS 「Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9」を発表

ノベルは、企業のワークグループから基幹系業務まで対応する Linux サーバ OS の最新版「Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9 (SLES9)」の提供を開始した。SLES9 は Linux カーネル 2.6 に対応した初めてのエンタープライズ向け Linux OS で、ファイル、プリント、Web などの基本ネットワークサービスから大規模なデータベースや ERP などの基幹業務システムに対応したパフォーマンスとスケーラビリティ、高い信頼性と可用性により、企業が求めるセキュアで信頼できるビジネスのためのオープンプラットフォームを提供する製品である。ノベルは、オープンソース技術を通じて企業が情報資産から新たな価値を得られるエンタープライズ Linux ソリューションを掲げているが、SLES9 はそのパフォーマンスと拡張性、信頼性により、これを大きく推進し、Linux をビジネス環境に展開していく中核となる製品である。

SLES は、独自の AutoBuild システムによって単一のコードベースで PC サーバからメインフレームまで 7 つのプラットフォームに対応し、異種プラットフォーム間での高い互換性を備えているエンタープライズ Linux OS である。統合管理ツール YaST を搭載し、多様なオープンソースソフトウェアのインストール / アップデート / 管理を、統一された操作で実行する優れた管理性を備えている。SLES9 の主な新機能および強化機能は次のとおりである。

カーネル 2.6 を採用することで、高度なメモリ管理、無制限のプロセッササポ

ート、Native Posix Thread Library (NPTL)、I/O 機能などを実現し、エンタープライズ Linux OS としての高いパフォーマンスとスケーラビリティを実現。IBM との共同開発による独自のクラス単位カーネルリソース管理である CKRM は、Linux サーバに対してリソースをダイナミックに割り当てることができ、一つのプロセスで CPU 等のシステムリソースを占有しないよう制御することができる。さらに、インテルハイパースレッディングテクノロジーと NUMA をサポートし、大規模導入におけるより高度な拡張性を実現している。また、OSDL (Open Source Developer Lab) の通信業界の標準規格であるキャリアグレード Linux 2.0 への対応や、データセンターの業界標準規格データセンター Linux への準拠も進めている。セキュリティについては、SLES8 は ISO 標準の Common Criteria で定義される国際的セキュリティ基準、EAL 3+ を取得した最初の Linux プラットフォームであり、今回の SLES9 では、EAL の最高ランクである EAL 4+ の取得を進めているなど、他の商用 OS と同等以上のセキュリティを Linux 環境で実現している。

新たに標準搭載された 2 ノードハイアベイラビリティ・クラスタを YaST によって簡単に構築できるほか、Enterprise Volume Management System によって、クラスタ環境でストレージリソースを共有するサーバの設定やメンテナンスが簡易化された。これらの機能により SLES9 のミッションクリティカルな環境への導入は容易になり、導入後のハード

ウェア拡張の際にも HotPlug 機能を活用し、サーバ稼働中のハードディスクやプロセッサ、その他周辺機器の交換が可能となった。

統合管理ツール YaST は、今回 CIM (Common Information Model) に対応した。CIM はエンタープライズ向けシステム管理ソリューションの標準インタフェースで、大規模な IT 環境のサポートを容易にし、サードパーティの管理ツールとの連携を可能にしている。また、各種 Linux ディストリビューションのセキュリティアップデートとワークステーション、サーバ上のソフトウェアの自動集中管理を実現する Novell ZENworks Linux Management を利用することで、ネットワーク内で SLES9 と混在している多数の Linux ディストリビューションを容易に導入、設定、管理しながらセキュリティを高めることができる。

そして、Samba 3 によるファイル・プリントサービスをサポートし、多数の電子メールサービスおよびデータベース、Apache Web Server、Java、Tomcat、JBoss などのミドルウェアサービスや幅広いネットワークサービス提供している。SLES9 SDK (ソフトウェア開発キット) では、Eclipse、Kdevelop、Mono、Perl、Java、Python などの開発ツールやランタイム環境を提供し、Linux 互換のアプリケーション開発が容易になり、さらに User Mode Linux の対応により、SLES9 上で仮想 Linux OS を複数稼働させることが可能である。

URL : <http://www.novell.co.jp/nicweb/>

## イージェネラ

### 2ウェイのハイパフォーマンス・プロセッシングブレードを発表

ユーティリティ・コンピューティングをリードする、イージェネラは、Egenera Processing Blade (プロセッシングブレード) の製品ラインを拡張し、現在最高速の2ウェイのプロセッシングブレードを追加した。今回追加された2ウェイ・プロセッシングブレードは、2004年8月に発表されたIntel Xeon プロセッサのIntel EM64Tに対応するものである。

この新ブレードは、800MHzフロントサイド・バスを含む2枚の3.60 GHz Intel EM64T プロセッサを搭載しており、8GBのDDR2メモリをサポートしている。DDRメモリ技術の次世代バージョンであるDDR2メモリの特徴として、高速化、高データ帯域幅、小消費電力、低発熱量があげられる。また、64ビットメモリのアドレサビリティにより、イージェネラのプラットフォーム上で稼動するデータベースアプリケーションに必要な大規模メモリ構成も実現している。

イージェネラは、現在、Intel Itanium 2 プロセッサ搭載のプロセッシングブレードを開発していることを発表するなど、インテル64ビット・アーキテクチャへのフル対応に向けた取組みを展開している。また、将来において、Intel Itanium 2 プロセッサ搭載のプロセッシングブレードを、従来採用しているIntel Xeon搭載のプロセッシングブレードや、今回発表したIntel EM64T搭載のプロセッシングブレードとの組み合わせを可能にするなど、PAN (Processing Area Network) を大幅に拡張していく予定である。

## 京セラコミュニケーションシステム

### VoIP/IP 電話サービスのネットワークパフォーマンス & サービスレベル監視・管理システムを発表

京セラコミュニケーションシステム (KCCS) は、公衆無線LAN事業者と提携し、全国約3,000カ所の公衆無線LANアクセスポイントからセキュアなイントラネットアクセスを実現するサービスを開始した。これにより、ユーザーはパソコンの設定を変える必要なく、公衆無線LANを通じてワンクリックで社内のイントラネットにアクセスが可能となった。

また、統合認証ソリューション「NET BUREAU (ネットビューロ)」の新機能である「無線・有線LANからのセキュアアクセス機能」により、公衆無線LANをはじめとしたインターネット経由のリモートアクセスだけでなく、企

業内LANからも同じオペレーションで、セキュアに社内の情報リソースへのアクセスも可能となった。このNET BUREAUクライアントソフトの公衆無線LAN接続機能により、ユーザーは改めてWEPキーやSSIDを手動で設定する必要がなく、そのまま簡単にアクセスポイントに接続できる。さらに、KCCSが提供するPHS網を使ったデータ通信サービスの「KWINS(クインズ)」を併用することで、公衆無線エリア外もカバーされ、ユーザーは、いつでもどこからでも回線やネットワークを意識することなく自動的に最適な回線に接続できるようになるので、よりユビキタスを実現できることになる。TEL: 03-5792-0270

## 日本ピープルソフト / NTTコムウェア

### 給与計算システムの短期導入手法を共同開発

日本ピープルソフト(ピープルソフト)とNTTコムウェアは、ピープルソフトの給与計算プロダクト「PeopleSoft Enterprise グローバルペイロール(グローバルペイロール)」の短期導入を可能にする独自の手法「グローバルペイロールバリュープロセス クイックインプリメンテーション(バリューインプリメンテーション)」を共同で開発し、両社によるコンサルティングサービスを開始した。

バリューインプリメンテーションは、ピープルソフトが同社のグローバルペイロールの導入に際し、日本の商習慣に合わせて独自に開発した短期導入手法と、NTTコムウェアの豊富な導入経験に基づくコンサルティングサービスを組み合わせたもので、企業の経営環境

の変化に柔軟に対応し、導入時から将来にわたるTCOの削減に貢献するために開発された製品である。顧客にとって合理的な業務フローを発見するために「標準ビジネスプロセス」を用いて要件定義を最適化し、プロジェクトにおいて大幅な工数の削減を可能にすることができる。一方グローバルペイロールは、どのような給与計算ロジックにも容易に対応できる柔軟性と汎用性を持ち合わせた業界随一の製品で、その特性を最大限に活かすバリューインプリメンテーションにより短期間での導入が可能となり、さらにTCOを削減することができる。

日本ピープルソフト: 03-5251-8476 /  
NTTコムウェア: 03-5463-5779

## 法人向けIP電話アダプタ「VC12Rシリーズ」2機種をマルチキャリアに対応

沖電気工業（沖電気）は、通信キャリアのIP電話サービスを利用する法人向けIP電話アダプタ「VC12R-FXS」と「VC12R-BRI」による、「OCN ドットフォン オフィス」、「KDDI-IPフォン」、「FUSION IP Phone」の3つのサービスへの正式対応を開始した。

VC12R-FXSとVC12R-BRIは、法人ユーザーのPBXやビジネスホンを通信キャリアのIP電話網へ接続することで、通信キャリアの提供するIP電話サービスの利用を可能とするものである。2003年9月よりフュージョン・コミュニケーションズが提供する法人向けIP電話サービス「FUSION IP-Phone」への正式対応を開始しているが、さらにKDDIが提供する「KDDI-IPフォン」

と、NTTコミュニケーションズが提供する「OCN ドットフォン オフィス」への正式対応を開始した。これにより、地域事情や必要とするサービス内容にあわせて法人ユーザーの選択できるIP電話サービスの幅が大きく広がった。

VC12R-FXSはアナログ電話インタフェース（2回路）に、VC12R-BRIはISDN基本インタフェース（1回路）にそれぞれ対応し、法人ユーザーが使用しているインタフェースにあわせて機器を選択することができる。これら2機種は音声優先制御機能を搭載しているため、音声とデータを共用する場合にも高い音声品質を確保することができる。さらに、両機種とも最大7台までカスケード接続できるUPnP

（Universal Plug&Play）機能を搭載しており、法人ユーザーの要望に合わせたIP電話回線数の提供が可能である（但し通信キャリアサービス側の提供状態による）。

VC12R-FXS / VC12R-BRIの主な特長と導入のメリットは次のとおり。

- ・PBX、ビジネスホンと接続することで法人向けIP電話サービスの利用が可能
- ・沖電気のVoIP技術をフルに活用し、高い音声品質を実現
- ・内蔵されたブロードバンドルータには音声優先制御機能が搭載されているため、インターネット接続とIP電話の同時利用が可能
- ・IP電話による通信費削減

TEL：03-5445-5708

### NECインフロンティア

## 海外市場向けに特化したIP対応キーテレフォンシステム「TOPAZシリーズ」を発表

NECインフロンティアは、中国・アジアをはじめとした海外市場向けに特化したIP対応キーテレフォンシステム「TOPAZ（トパーズ）シリーズ」を開発し、順次販売活動を開始した。

TOPAZは、キーテレフォンシステムの潜在需要が見込まれるアジア市場をはじめ、大洋州、欧州を主なターゲットとして新たに開発された製品である。これらの市場では、高機能・高価格モデルと、機能を絞った低価格モデルの二極化が進んでおり、特に後者では現地ブランドによる低価格攻勢が進んでいる。TOPAZは、このような市場環境を見据えた上で投入される、同社の海外向けキーテレフォンシステム拡販の一翼を担う戦略製品であり、ハ

イエンドからローエンド間の今後高いニーズが見込まれる領域に向けて投入していく計画である。

TOPAZは、市場ニーズにあわせた機能の強化を図っている一方で、生産を中国国内で行うなどのコスト削減により、機能や価格への要求が厳しい中国市場においても、現地ブランドに対抗できる競争力を実現している。主な特長は次のとおり。

- ・多機能電話機と単独電話機を自由に組み合わせ可能なフルハイブリッド機能をサポート
- ・内線8回線から72回線まで、利用規模に応じた柔軟なシステム構築が可能。低価格かつ幅広い拡張性を有している

・既存のアナログ回線やISDN回線、オプションとしてVoIP回線にも対応しており、ユーザーの利用シーンにあわせたシステムのステップアップが可能

- ・海外市場にあわせて手軽な工事・保守性に配慮したデザイン

販売は、アジア市場向けについてはNEC Infrontia Asia Pacific Sdn. Bhd.（本社：マレーシア）のダイレクトモデル販売を通じて各国向けに販売。特に中国市場向けについては、2004年6月に設立したNEC Infrontia Asia Pacific (Shanghai) Ltd.（本社：上海）を中心に積極的な販売活動を行っていく。また、今後順次、大洋州・欧州市場向けにも投入していく予定である。

TEL：044-820-5140

## アイ・ビー・イー

### MPEG-4 AVC/H.264 ソリューション開発環境を市場に投入

アイ・ビー・イーは、Windows上で動作するMPEG-4 AVC/H.264を使用したシステムソリューション開発支援パッケージの販売を開始した。MPEG-4 AVC/H.264は、地上デジタル放送で行われる携帯電話など、移動体向け放送(1セグメント放送)や次世代DVDであるHD-DVDへの採用が正式に決定された、動画像符号化の国際標準圧縮方式である。圧縮率と映像品質ともに従来のMPEG-2やMPEG-4に比べ約2倍の性能を実現している。今回販売を開始したMPEG-4 AVC/H.264関連製品は、容易にエンコード・デコード(圧縮・伸張)評価環境を構築することが可能なソフトウェア「Professional AVC/H.264エンコーダキッ

ト」(開発元:米Videosoftware社)データ互換性の保証などの規格適合性を容易に検証できるソフトウェア「Mindego Analyzer 4600」(開発元:米Mindego社)の2製品である。両製品を使用することで、MPEG-4 AVC/H.264の高圧縮性能を活用した研究開発・製品開発がより容易になる。MPEG-4 AVC/H.264は、今後ますます普及していく映像のネットワーク配信において、ブロードバンド、放送、モバイルなど様々な環境での利用が見込まれている。アイ・ビー・イーは、これまで培ってきた豊富なMPEG等のデジタル映像関連技術と同製品を融合することで、映像システムを開発・構築の利便性を向上させた。 TEL:03-3556-2612

## 日立システム

### 経営情報の可視化によりスピード経営を図る「EPMソリューション」を発表

日立システムアンドサービス(日立システム)は、関連システムから収集された経営情報を可視化して分析機能を提供することで経営のスピードアップを図る、問題発見・解決型「EPM(Enterprise Performance Management 企業パフォーマンス管理)ソリューション」を発表した。このEPMソリューションは、経営の可視化を実現するためのKPI(Key Performance Indicator:主要業績評価指標)や経営情報を分析するためデータウェアハウス化を行うBI(Business Intelligence)などのテクノロジーを活用した新しいタイプのソリューションメニューである。同ソリューションは、大きく分けて次の3つの段階から構成されている。

- ・フェーズ1:ユーザーの経営課題を分析しKPIを導出
- ・フェーズ2:KPIの可視化を実現するBI環境の構築
- ・フェーズ3:経営課題を解決するための業務システムの改善

EPMソリューションの特長は、この3つのフェーズを連続的、かつ段階的に進めていけるところである。フェーズ1では、経営診断ツールと独自の分析手法により、KPIを導出していく。フェーズ2では、BIツールを活用してKPIのモニタリング環境を構築。フェーズ3では、日立システムが長年にわたって培った多種多様な業務システム開発技術を利用して、経営課題を具体的にシステム改善につなげていく。TEL:03-6718-5801

## アドベントネット

### ネットワーク管理システム開発用フレームワーク「AdventNet Web NMS 4.7」の販売を開始

アドベントネットは、ネットワーク管理システム開発用フレームワーク「AdventNet Web NMS 4.7」の販売を開始した。同製品は、ネットワーク管理システムの開発プラットフォームを提供する開発用フレームワークで、機能拡張、機能追加により、総合的な製品機能が向上されている。例えば、ネットワーク管理システムの開発や設定のための各種ツール、ウィザードをバンドルしており、効率よく、短期間でネットワーク管理システムを構築することができるようになっている。また、大規模ネットワークの管理や信頼性の向上のための機能をあらかじめ提供しているため、あらゆる管理ニーズに対応する管理システムを構築することができる。さらに、柔軟性があり長期的に利用できる管理ソリューションを実現するために、EJB、JFC、XML、JMX、HTTP、JSP、JDBC、JTA、CORBAなどの標準化された技術を採用。管理システム/機器との通信には、SNMP、TL1、XML、CORBA、Telnet/CLIプロトコルをサポートしている。以上のような特長をベースに、自社の製品やサービスに運用管理という付加価値を容易に持たせられるため、自社の製品やサービスの差別化や競争力を向上させたい企業や機器ベンダー、通信キャリア、サービスプロバイダ、システムインテグレーターに適した製品である。

TEL:045-412-5601